

# 未来をつかむTECH戦略

～2040年頃の未来への投資としてのICT政策～

---

平成30年5月17日  
野田総務大臣提出資料

# 未来をつかむTECH戦略 中間とりまとめ(平成30年4月17日公表)のポイント

- 人口減少や高齢化が本格化する2040年頃に向けた情報通信政策のあり方を情報通信審議会に諮問。注目すべき社会構造の変化を踏まえてICTによる「実現したい未来の姿」を示し、そこから逆算して必要となる政策を整理。
- その中間とりまとめとして、我が国に迫り来る危機をむしろチャンスと捉え、アグレッシブなICTの導入により、**変革の実行へつなぐ**ための改革プラン「未来をつかむTECH戦略」(CHANGE by TECH)を提言。
- 夏頃に答申を受け、AI・IoT時代の人材育成や、医療・ヘルスケアなどあらゆる分野のICT化を積極的に推進。

## 日本の社会構造の変化(例)

AI・IoT時代の就業構造へ変化	医療・介護の需要が急増	独居高齢者世帯が急増
2015年 → 2030年	2015年 → 2040年	2015年 → 2035年
定型業務 価値創造業務	入院ニーズ 介護ニーズ	独居高齢者
-386万人 +190万人	133万人/日 521万人 +30万人 +313万人	163万人/日 834万人
		593万人 +169万人 762万人

### 変革実行の8カ条

社会を変えていくために  
必要なマインドチェンジ

- (M) ムーンショット(高めの目標を設定して逆算アプローチ)
- (O) オポチュニティ(ゼロリスクを求めず挑戦する社会風土へ)
- (V) バリュー(量から質を重視する成熟国家の価値観へ)
- (E) エコノミクス(高齢者の投資促進など需要を徹底喚起)
- (F) フォーカス(選択と集中でムダを止めて持続可能性を確保)
- (A) アグレッシブ(アグレッシブなICT導入で遠隔・自動化を推進)
- (S) スパードアイシティ(高齢者や障害者等も誰でも活躍できる社会制度に)
- (T) トラスト(制御可能性や社会倫理等を通じ技術への信頼を確保)

## 実現したい未来の姿

- I インクルーシブ(包摂)** 年齢・性別・障害の有無・国籍・所得等に関わりなく、誰もが多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、豊かな人生を享受できる社会
- C コネクティッド(連結)** 地域資源を集約したコンパクト化と遠隔利用が可能なネットワーク化により、人口減でも繋がったコミュニティを維持し、新たな絆を創る社会
- T トランスフォーム(変容)** 設計の変更を前提とした柔軟・即応のアプローチにより、技術革新や市場環境の変化に順応して発展する社会

## 政策パッケージ(例)



- **トップ人材の育成からリテラシー向上まで、AI・IoT時代に対応した多面的な人材育成等を推進(スマートインクルージョン構想)**
  - ・ 地域で子ども・学生、社会人、高齢者等がプログラミング等のICT技術を楽しく学び合う「地域ICTクラブ」の構築
  - ・ 優秀な技能等を有する児童・生徒の成功体験や起業等につながるようなサポート体制の構築を通じた若年層の起業家育成支援、セキュリティ等専門人材の育成など
  - ・ 高齢者等のICT利活用を地域で支援する「ICT活用推進委員(仮称)」の創設
- **医療・ヘルスケア分野など、あらゆる分野へのICTの積極導入**
  - ・ 本人同意の下、個人の医療・介護・健康データを高付加価値ヘルスケアサービスなど様々な用途に活用できるPHR(Personal Health Record)の推進 など

- AI・IoT時代に必要な**トップレベル**のスキルを備えた人材の**確保**、時代に応じて**スキルアップ**を図る社会人等の**ボリュームの拡大**、誰もがICTの恩恵を享受できる**リテラシー**の**底上げ**など、「スマートインクルージョン構想」等により、多面的に人材育成を推進。

## 【トップレベル】主な施策

- **若年層の起業家・トップイノベーター育成の支援**
  - ・ 「地域ICTクラブ」等で優秀な技能等を有する人材の起業等につながるようなサポート体制(ビジネス体験支援等)の構築
  - ・ 先端的な研究開発プロジェクトを通じた人材の交流・活性化
- **IoT時代のネットワーク・セキュリティなどの高度人材の確保**
  - ・ SDN/NFVネットワーク(注)を運用・管理できる人材育成プログラムの開発
  - ・ NICTのナショナルサイバートレーニングセンターによる若手セキュリティイノベーターの育成

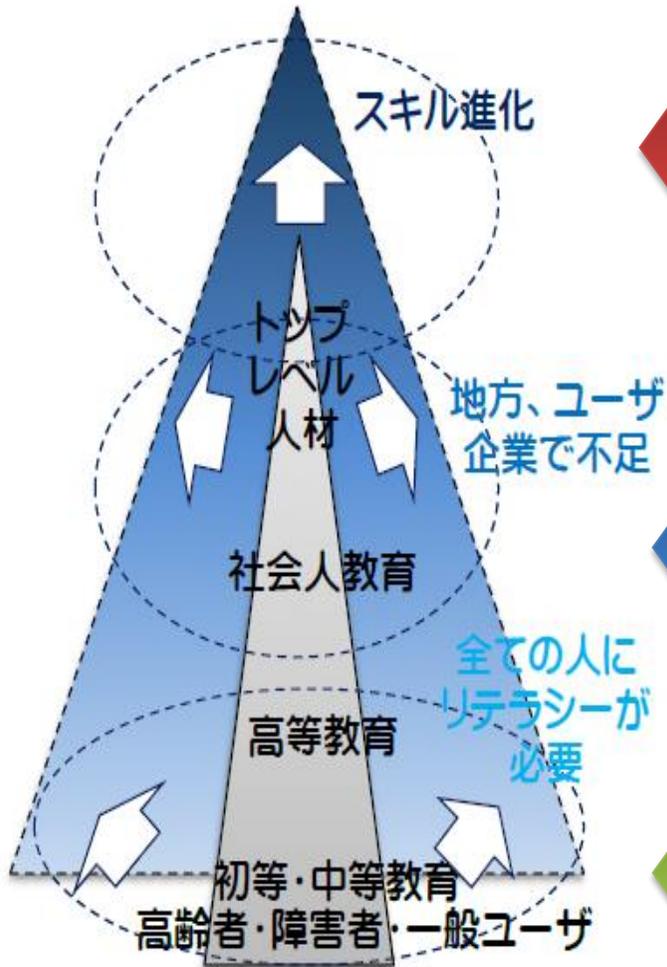
(注) ネットワークの運用・管理に必要なさまざまな機能をソフトウェアを用いて仮想化したもの

## 【スキルアップ】主な施策

- **データサイエンティストの育成**  
MOOC講座や学習サイトの提供により、データサイエンス力の高い人材を育成
- **地方公共団体職員等のICTスキルの向上**  
自治体CIOや地域におけるオープンデータ人材の育成に向けた研修を実施
- **IoTのユーザ企業等におけるスキル向上**  
ユーザ企業等の経営者などに対する講習会を実施

## 【リテラシー】主な施策

- **「地域ICTクラブ」の構築**  
地域で子供・学生、社会人、高齢者等がプログラミング等のICTを楽しく学び合い、新しい時代の絆を創るための仕組みを構築
- **「ICT利活用推進委員」の創設**  
高齢者がICT機器の操作等について気軽に相談できる地域の身近な存在として、「ICT活用推進委員」制度を創設(相談、情報提供、連絡通報、生活支援等)



# (参考2) 医療・ヘルスケア分野のICT化の推進

○ スマートフォン等の普及を踏まえ、個人の医療・介護・健康データを、本人同意の下で、**より付加価値の高い民間のヘルスケアサービス**など、様々な用途に活用するための **PHR**(Personal Health Record)のサービスモデル及びデータ連携基盤の開発を推進。

